

栃木県の財政状況

平成21年10月



目次

- 1 栃木県の概要
- 2 栃木県の財政規模
- 3 歳入予算の状況（一般会計）
- 4 歳出予算の状況（一般会計）
- 5 栃木県財政の推移（一般会計）
- 6 平成20年度決算の状況（普通会計）
- 7 平成20年度決算の状況（公営企業会計・法適用）
- 8 県債発行・公債費の推移
- 9 基金残高の推移
- 10 平成年度決算に基づく健全化判断比率等
- 11 今後の収支見込み（健全化対策前）
- 12 とちぎ未来開拓プログラムの概要
- 13 プログラム実施後の収支の見込み
- 14 県債の発行状況
- 15 全国型市場公募債の発行について
- 16 格付けの取得
- 17 問い合わせ先

〔参考資料〕

- 1 普通会計決算 収支等の状況
- 2 普通会計決算 歳入の状況
- 3 普通会計決算 歳出の状況（目的別）
- 4 普通会計決算 歳出の状況（性質別）
- 5 一般会計当初予算 歳入の状況
- 6 一般会計当初予算 歳出の状況（目的別）
- 7 一般会計当初予算 歳出の状況（性質別）
- 8 地方三公社 決算の状況
- 9 外郭団体の状況
- 10 債務負担行為の状況（普通会計）
- 11 中期財政収支見込み

栃木県の概要



面積: 6,408km²(関東最大) 〈全国第20位〉
 人口: 2,014,650人(H20.10.1現在) 〈全国第20位〉
 市町村数: 14市16町(H21.4.1現在)

恵まれた県土

- ・東京から60～160km
- ・地震、風水害など自然災害が比較的少ない
- ・一人あたりの県民所得は 〈全国第7位〉
3,104千円
- ・東北道・北関東道等が交わる北関東の要所

豊かな自然環境

- ・日光国立公園は、ラムサール条約登録湿地「奥日光湿原」、日本三大名瀑の一つ「華厳の滝」で有名
- ・水がおいしい

豊かな人材

- ・「誠実、勤勉、人柄が良く人情味がある」と言われる県民性
- ・県民栄誉賞 船村徹(作曲家)
渡辺貞夫(音楽家)
渡辺俊介(野球選手)
など

誇り輝く“とちぎブランド”

農業産出額 2,634億円 〈全国第10位〉

- ・とちぎのいちごは40年連続収穫量日本一
- ・「とちぎ和牛」も有名

製造品出荷額等 9兆2,453億円 〈全国第12位〉

- ・カメラ用交換レンズ 日本一
- ・日産、ホンダなどの自動車生産・研究拠点が県内に展開

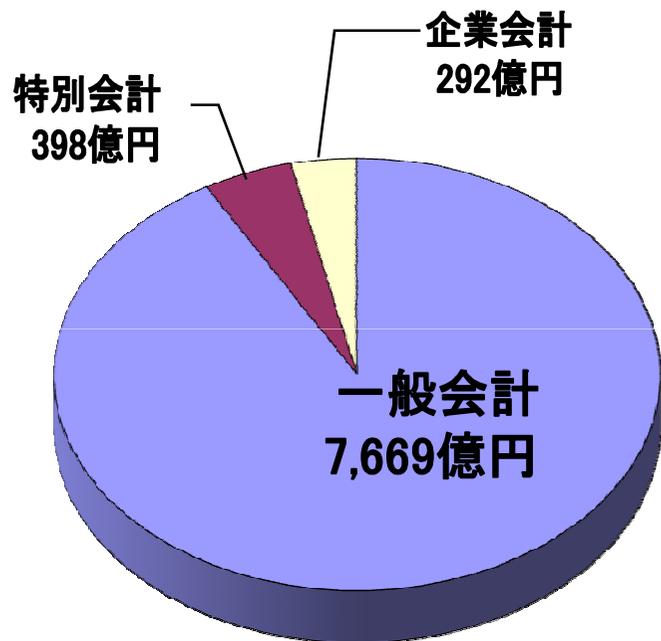
企業立地件数 43件 〈全国第15位〉

優れた歴史・文化

- ・世界文化遺産「日光の社寺」
- ・日本最古の学校「足利学校」
- ・近代産業遺産「足尾銅山」
- ・那須烏山市の「山あげ祭り」
- ・栃木市の「人形山車」など

栃木県の財政規模

- ・ 平成21年度の財政規模は、8,359億円(全会計ベース)
- ・ 一般会計のほかに、特別会計10会計、企業会計6会計を設置



全会計
8,359億円
(平成21年度当初予算ベース)

I 一般会計

II 特別会計

(億円)			
公債管理	217	自動車税・自動車 取得税納税証紙	56
県営林事業	5	林業・木材産業改善 資金貸付事業	1
母子寡婦福祉資金 貸付事業	4	心身障害者扶養共済 事業	3
小規模企業者等設備 資金貸付事業	24	農業改良資金貸付 事業	7
馬頭最終処分場事業	5	流域下水道事業	76

普通会計

III 企業会計

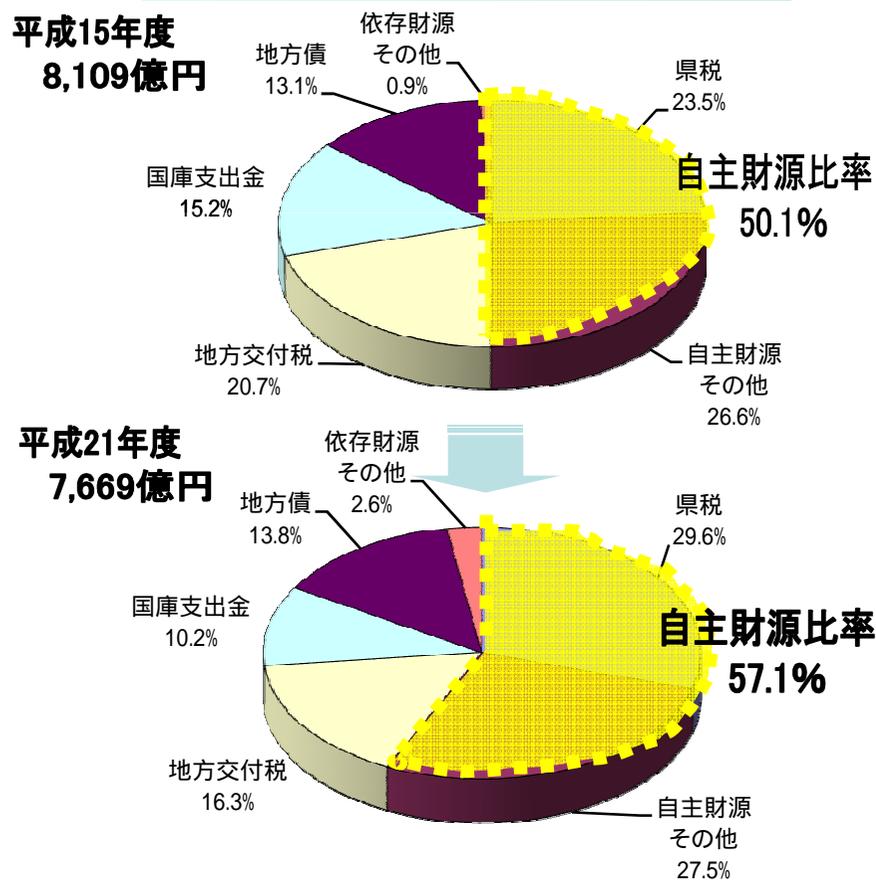
(億円)			
病院事業	169	電気事業	28
水道事業	27	工業用水道事業	12
用地造成事業	51	施設管理事業	5

公営企業会計

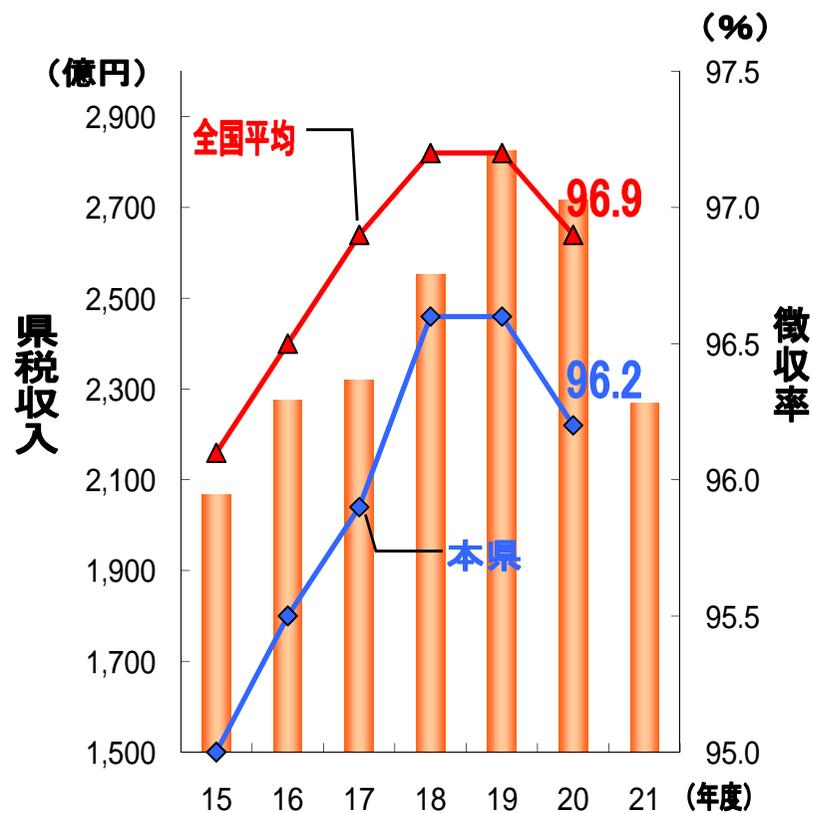
歳入予算の状況(一般会計)

- 税源移譲により自主財源の割合が増加(H15 50.1% H21 57.1%)
- 地方交付税は大幅に減少(H15 20.7% H21 16.3%)
- 徴収率の更なる向上と新たな財源の確保が課題

歳入構造の変化



県税収入と徴収率の推移



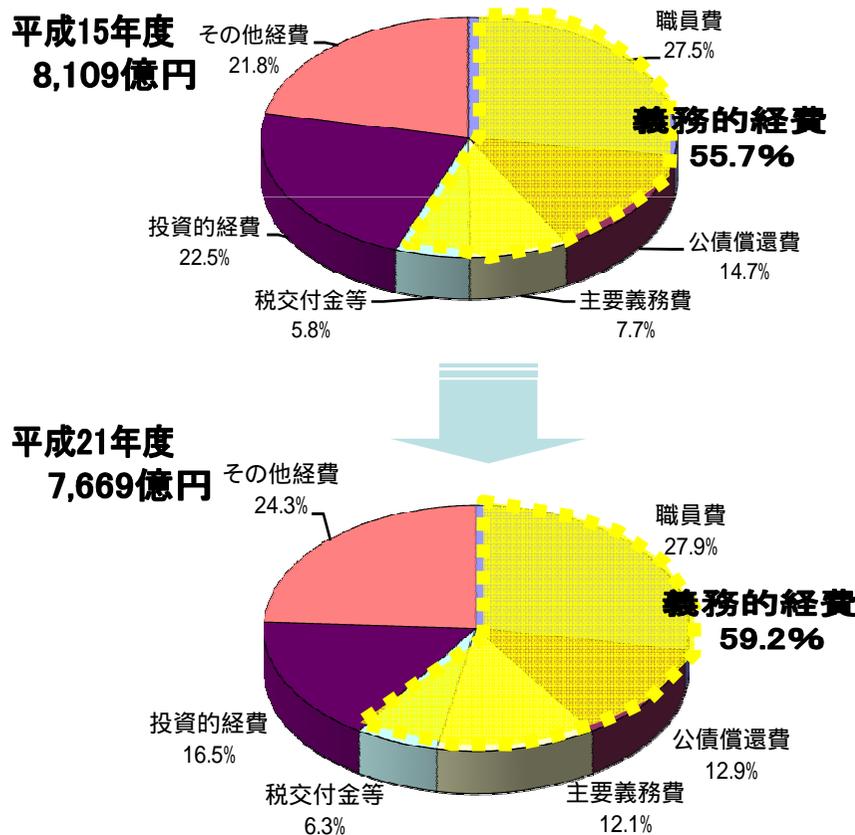
※20年度までは決算額。21年度は当初予算額

歳出予算の状況(一般会計)

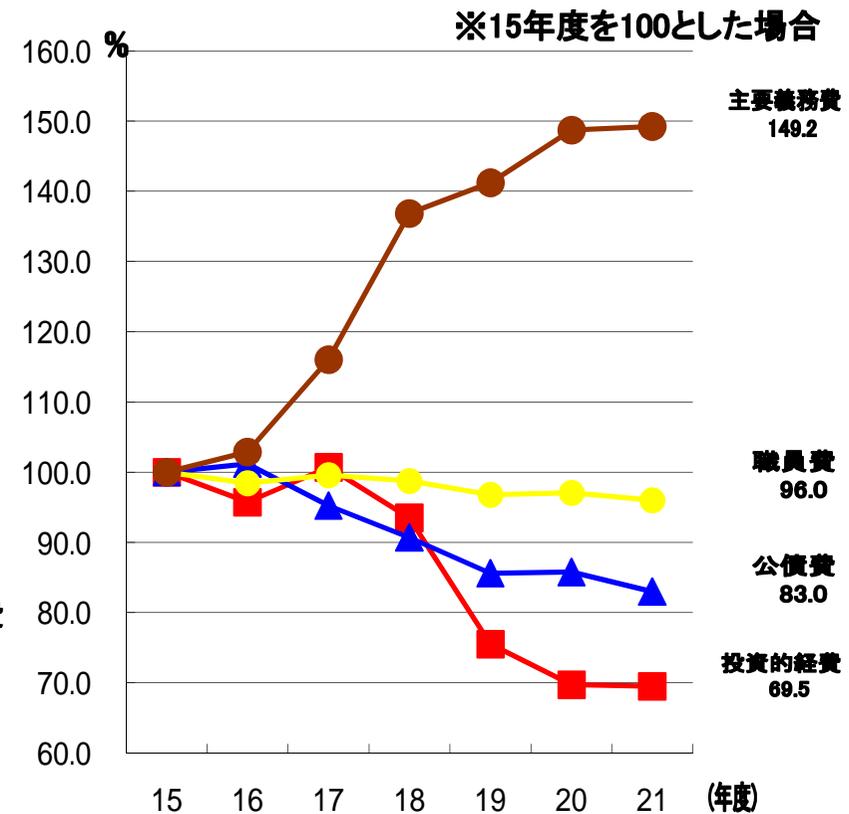
- ・義務的経費が概ね6割で、主要義務費の伸びが顕著(H15 7.7% H21 12.1%)
- ・投資的経費を大幅に抑制(H15 22.5% H21 16.5%)
- ・今後とも歳出全般の見直しが必要

※1 医療費、介護保険、国民健康保険 など

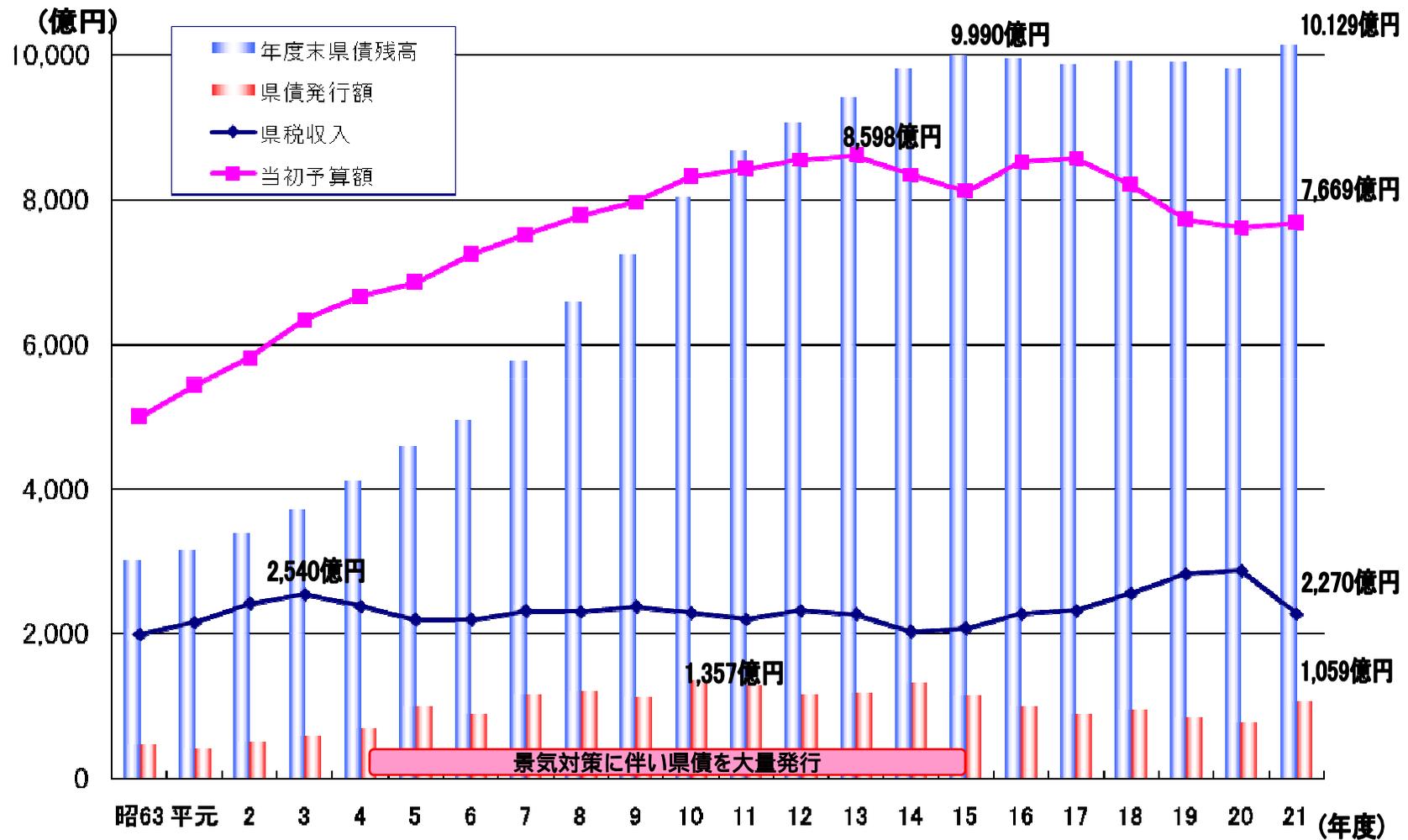
歳出構造の変化



歳出予算額の推移



栃木県財政の推移(一般会計)



※ 年度末県債残高及び県債発行額は、20年度までは決算額。21年度は当初予算額(20年度決算は反映済み)

平成20年度決算の状況(普通会計)

- 歳入歳出とも4年連続の減少
- 県税収入は、景気悪化による法人二税の減などにより6年ぶりに減少
(前年度比 3.9%)
- 投資的経費は、19年度に県庁舎建設が終了したことなどから、2年連続して減少
- 公債費は、投資的経費の抑制等により4年連続の減少

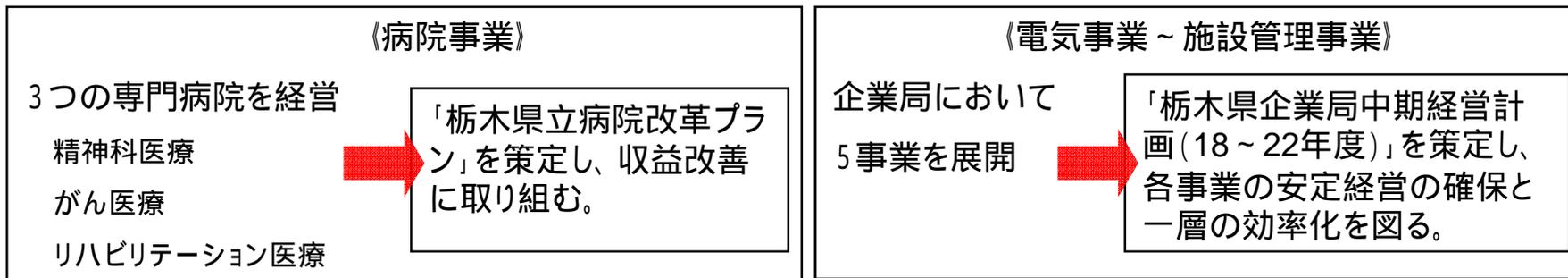
(億円、%)

区分	20年度	19年度	増減額	伸び率
歳入総額 a	7,508	7,513	5	0.1
うち 県税収入	2,716	2,826	110	3.9
うち 基金繰入金 ※	180	265	85	32.1
歳出総額 b	7,371	7,387	16	0.2
うち 人件費	2,374	2,403	29	1.2
うち 投資的経費	1,095	1,322	227	17.2
うち 公債費	1,028	1,030	2	0.2
形式収支 c = a - b	137	126	11	8.7
繰越財源 e	78	75	3	4.0
実質収支 d = c - e	59	51	8	15.7

※基金＝財政調整的基金(財政調整基金、県債管理基金、県有施設整備基金、社会福祉施設整備基金)

平成20年度決算の状況(公営企業会計・法適用)

●損益勘定は、病院事業、用地造成事業、施設管理事業で赤字



(億円)

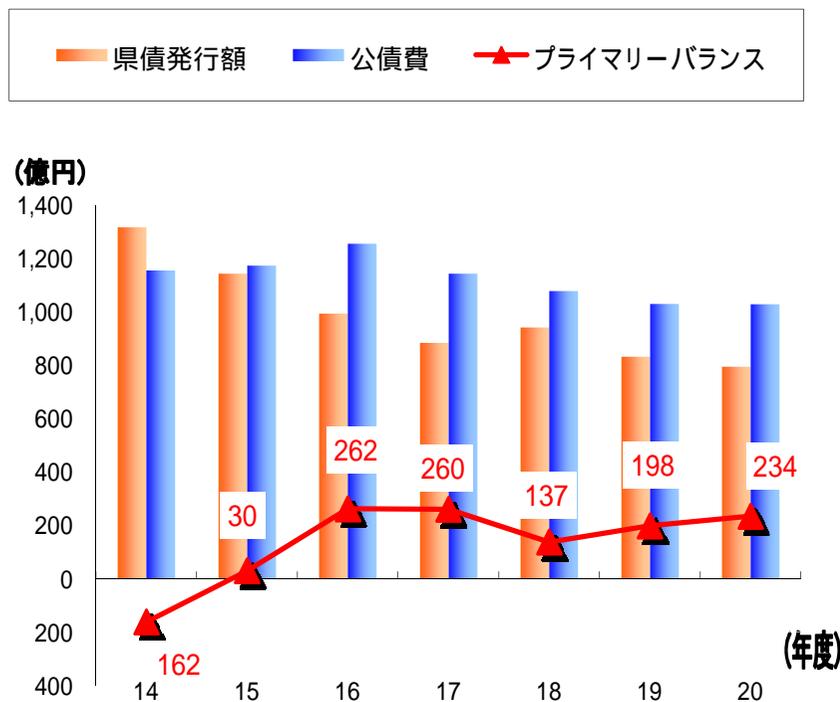
区 分		病院事業	電気事業	水道事業	工業用水道事業	用地造成事業	施設管理事業
収益的収支	事業収益	118	23	23	9	20	5
	うち営業収益	85	22	22	8	20	3
	事業費用	128	21	16	6	28	10
	うち営業費用	123	17	14	6	27	5
	収支差引	10	2	7	3	8	5

貸借対照表	資産の部	284	180	189	235	222	41
	負債の部	19	10	16	20	5	6
	資本の部	265	170	174	215	217	35
	自己資本金	101	92	91	7	113	29
	借入資本金	201	49	31	31	150	18
	剰余金	37	29	52	177	46	12

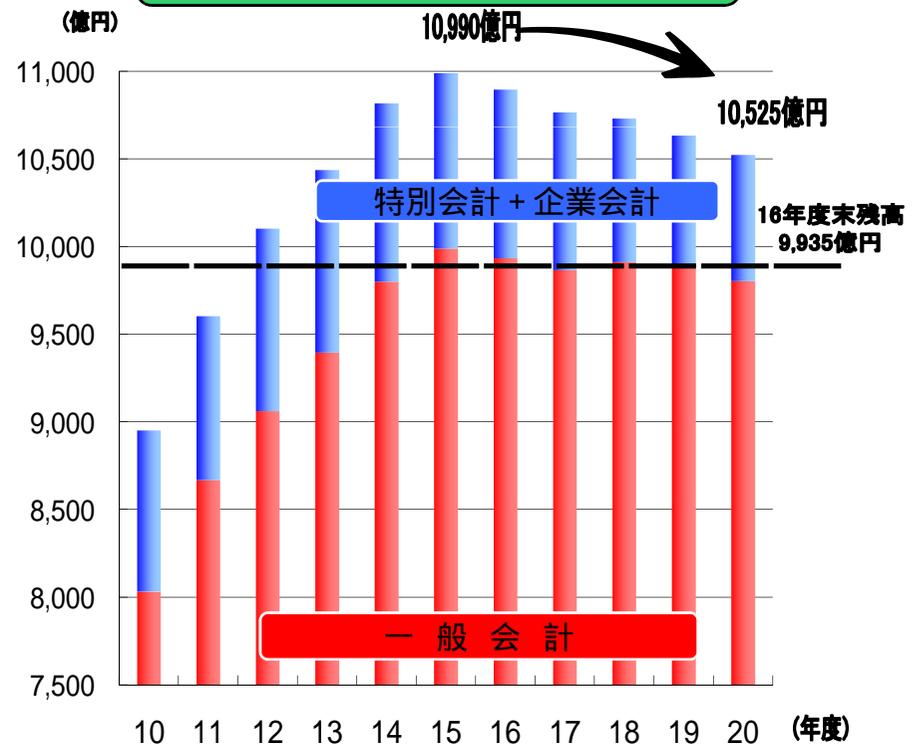
県債発行・公債費の推移

- 平成15年度以降、普通会計のプライマリーバランスは黒字
- 一般会計県債残高は行財政改革大綱に設定した目標(9,935億円以下)を堅持
- 今後とも投資的経費を抑制し、県債残高の圧縮に努める。

発行額及び償還額

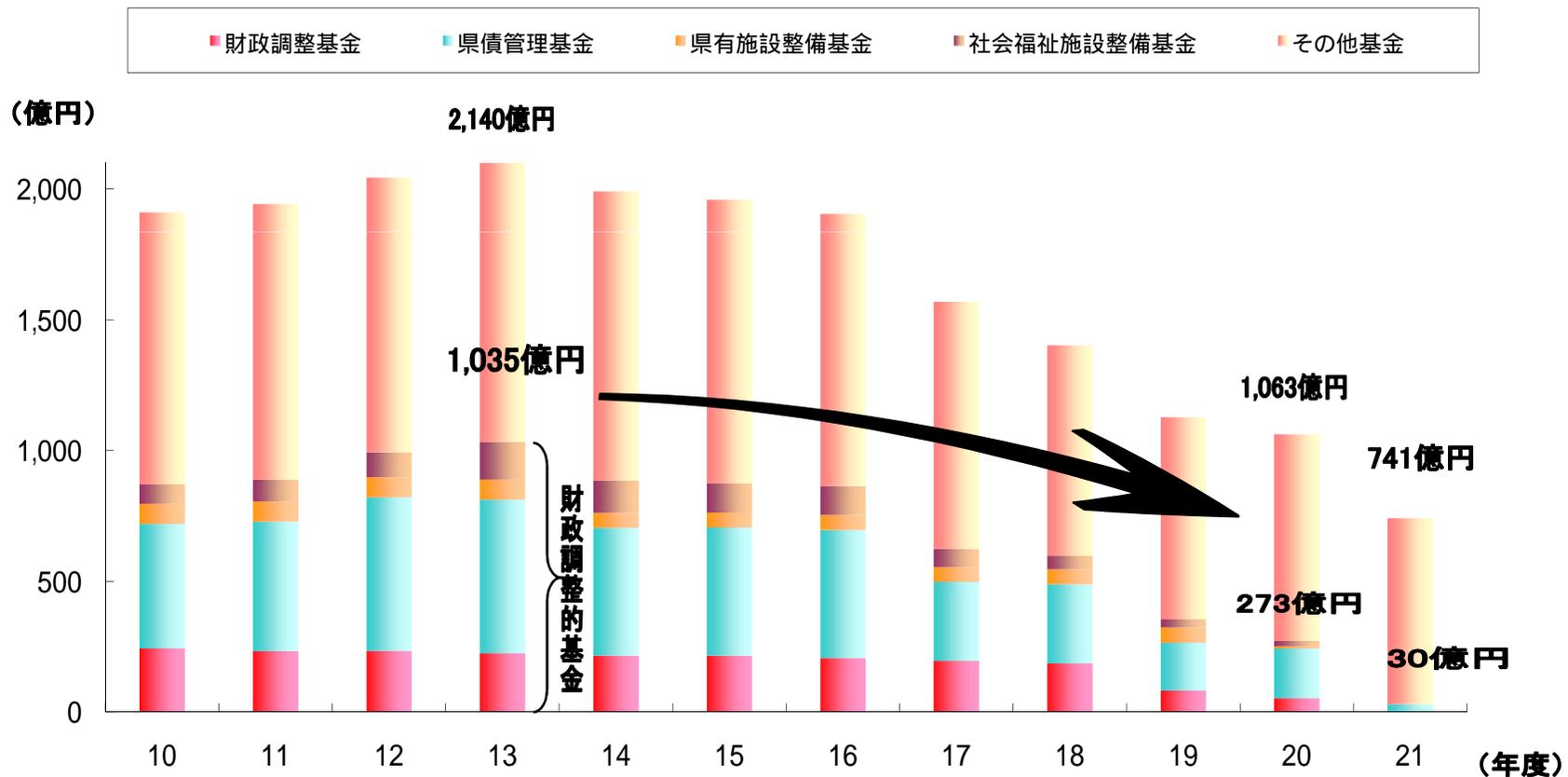


県債残高の推移



基金残高の推移

- 財政調整的基金は20年度末には273億円に減少し、平成21年度末には30億円程度となる見込み
- 基金に頼らない財政構造の確立が急務



※ 20年度までは決算ベース。21年度は当初予算ベース
 ※ 満期一括償還に要する経費は、別途積立(県債管理基金)



平成20年度決算に基づく健全化判断比率等

財政の健全性の度合いを示す5つの指標全てにおいて健全段階である。

指標名	対象範囲	本県	全国平均 ^{※3}	財政健全化法	
				早期健全化基準	財政再生基準
1 実質赤字比率	一般会計等 ^{※1}	- ^{※2}	-	3.75以上	5以上
2 連結実質赤字比率	一般会計等 公営事業会計	-	-	8.75以上	15以上
3 実質公債費比率	一般会計等 公営企業会計	12.7 〈全国第18位〉	12.8	25以上	35以上
4 将来負担比率	一般会計等 公営事業会計 一部事務組合 地方公社 第三セクター	165.8 〈全国第5位〉	219.3	400以上	
5 資金不足比率	公営企業会計	-		20以上	

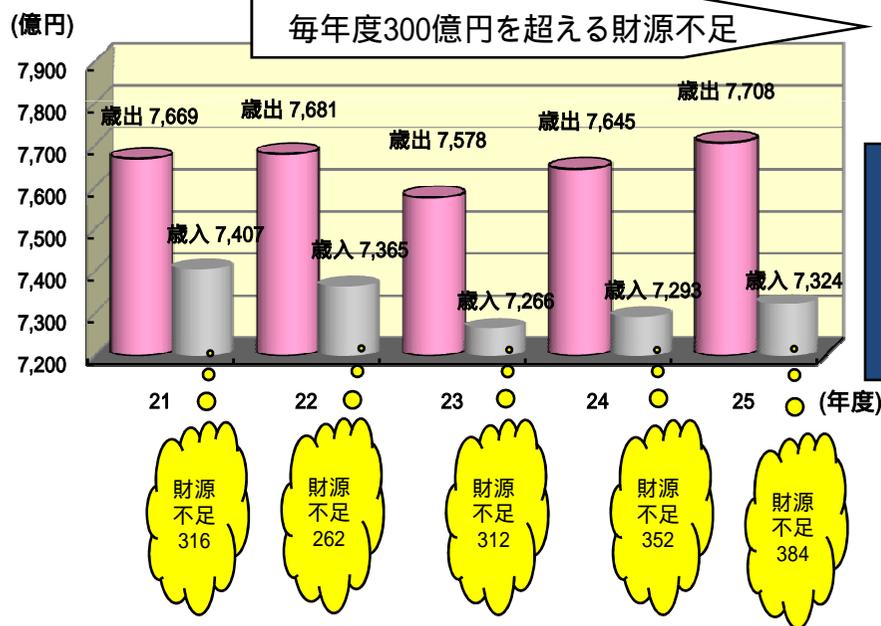
※1 一般会計等には、本県では7特別会計(自動車税・自動車取得税納税証紙、県営林事業、林業・木材産業改善資金貸付事業、母子寡婦福祉資金貸付事業、心身障害者扶養共済事業、小規模企業者等設備資金貸付事業、農業改良資金貸付事業)が含まれる。

※2 本県欄の「-」表示は黒字であることを示す。

※3 H21.10.2総務省発表数値(加重平均)

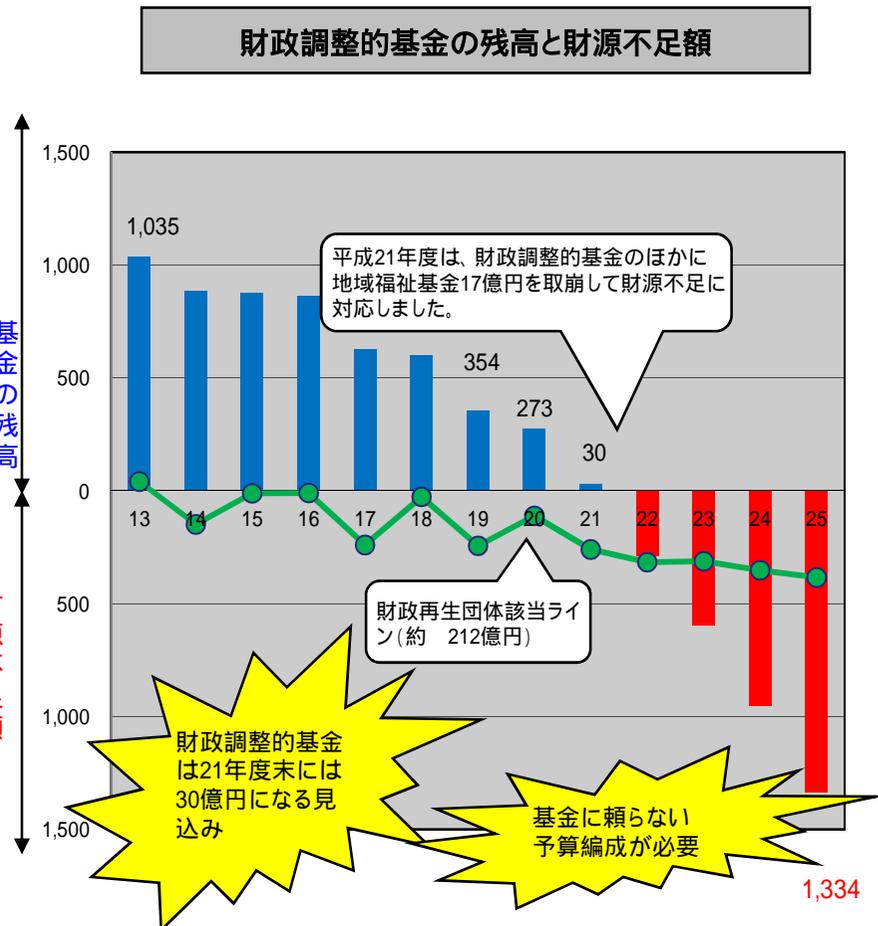
今後の財政収支見込み(健全化対策前)

これまでは財源不足を貯金(財政調整的基金)で補うことでどうにか予算編成ができました。しかし、平成21年度末には貯金が30億円しかなくなり、このままでは多額の赤字を抱え、財政再生団体に転落する恐れがあります。



基金の残高

財政調整的



20年度までは決算額、21年度以降は見込額です。
21年度以降の収支見込みについては、「栃木県の中期財政収支見込み について」によります。
今後の経済環境の変化や地方分権改革などによって試算した数値は変動します。

とちぎ未来開拓プログラムの概要

～ 栃木県財政の健全化に向けて～

《栃木県の将来像》

安心して暮らせ、人や環境にやさしく、元気な“とちぎ”

自律的な行財政基盤の確立による
県民満足度の高い県政の実現

県民ニーズへの的確な対応

次の時代を切り拓く人づくり

安全・安心な地域社会づくり

未来につなぐ環境づくり

活力あふれる産業の振興

未来につなぐ土台づくり

財政基盤の確立に向けて

内部努力の徹底

歳入の確保

行政経費の削減

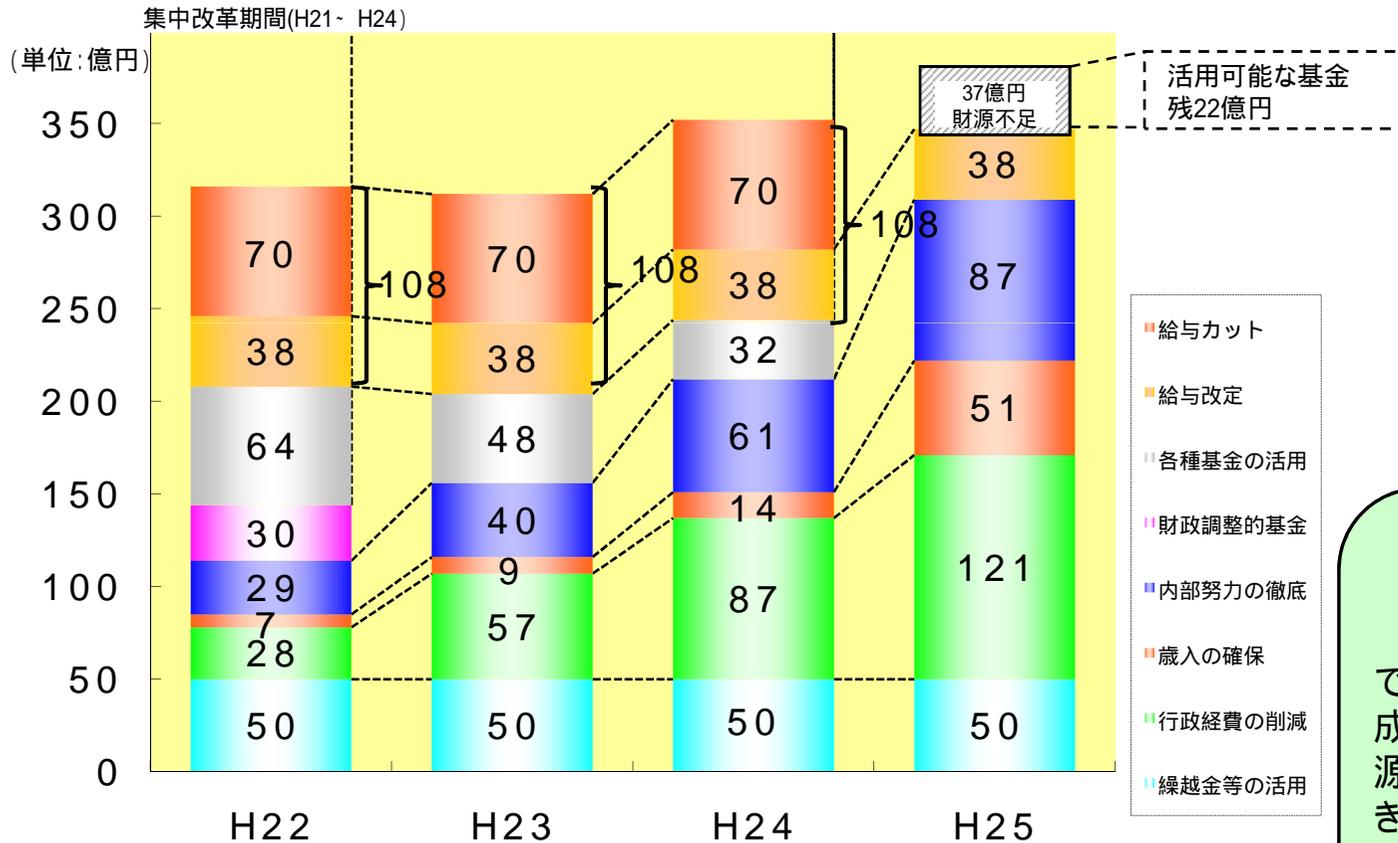
目指していく方向性

本プログラムは、改めてゼロベースの視点に立ち、聖域なく事業の見直しを進めるとともに、県民にとって最良の選択は何かという観点から、施策の優先順位を見極め、徹底した選択と集中に取り組むことで、自律的な行財政基盤を確立し、県民満足度の高い県政の実現を図るものです。

プログラム実施後の収支の見込み

このプログラムを実施することにより、平成25年度の財源不足額を37億円まで圧縮でき、財政再生団体に転落する危機は回避できる見通しです。

集中改革期間中は、職員の給与カットを行うとともに、各種基金などを活用して対応していきます。



活用可能な基金の状況

(1)財政調整的基金 30億円

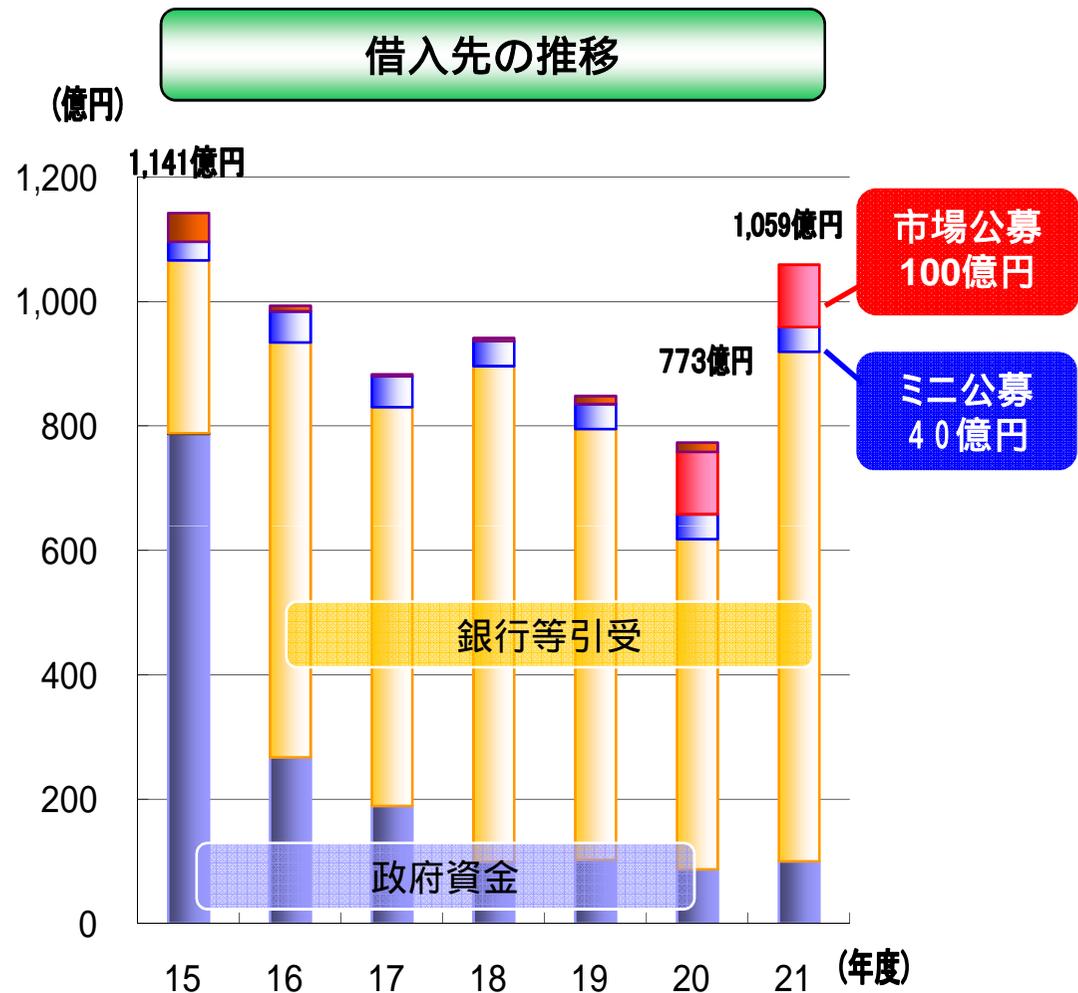
(2)各種基金 166億円

平成21年度末活用可能見込み額

この見直しでは、目標である「収支の均衡した予算編成」に向けて、なお37億円の財源不足が見込まれるため、引き続き更なる見直しを行っていきます。

	H22	H23	H24	H25
中期財政収支見込みにおける財源不足額	316	312	352	384
改善額	316	312	352	347
差し引き	0	0	0	37
年度末基金使用可能額	102	54	22	

県債の発行状況



※ 一般会計ベース
 ※ 21年度は当初予算ベースの見込み

- ・ 財政投融资制度改革の進展等により、政府資金から民間資金へシフト。
- ・ 15年度から住民の県政への参画を促すため、住民参加型市場公募地方債を発行。
- ・ 20年度から全国型市場公募地方債を発行し、より安定的かつ多様な資金調達を図る。



全国型市場公募債の発行について

〔21年度発行計画〕

発行額	100億円
年限	10年(満期一括)
条件決定日	平成21年11月11日(水)
発行日	平成21年11月30日(月)

〔シ団構成メンバー〕

金融機関名	シェア	証券会社名	シェア
足利銀行	20	大和証券S M B C	9
みずほコーポレート銀行	15	日興コーディアル証券	9
栃木銀行	5	野村證券	9
みずほ銀行	2	みずほ証券	5
あおぞら銀行	1	三菱UFJ証券	5
新生銀行	1	東海東京証券	3
三井住友銀行	1	みずほインベスターズ証券	3
信金中央金庫	1	S M B Cフレンド証券	1
足利小山信用金庫	1	岡三証券	1
大田原信用金庫	1	ゴールドマン・サックス証券	1
鹿沼相互信用金庫	1	しんきん証券	1
烏山信用金庫	1	モルガン・スタンレー証券	1
佐野信用金庫	1		
栃木信用金庫	1		
計	52	計	48

格付けの取得

AA⁺
(格付投資情報センター)

【格付け理由等】

地価や東京からの距離、社会インフラの整備状況などのバランスが良く、大手企業の工場が集積する「ものづくり県」として製造業が地域経済を牽引し、経済力は都道府県の中でも上位に位置づけられる。

県民一人あたりの県債残高が少なく、債務負担は都道府県の中でも小さい。

財政収支の硬直化は進んではいるが、2009年10月に「とちぎ未来開拓プログラム」を策定し、今後、基金に頼らずに収支均衡する財政体質を確立できる可能性が高い。

- 平成21年10月28日に(株)格付投資情報センター(R&I)から格付けを取得

- 信用力の向上、投資家の獲得に寄与するものと期待



- 今後も財政健全化に向けた取組を推進
- また、HP等を通じて県財政に関する情報を積極的に公表

問い合わせ先

栃木県 経営管理部 財政課
担当：辻、田口

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1 - 1 - 20

TEL 028-623-2022/2024

FAX 028-623-2030

E-mail zaisei@pref.tochigi.lg.jp

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/index.html>

- 本資料は、栃木県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等を説明するための資料であり、特定の債券の売り出し、又は、募集を意図するものではありません。
- また、本資料及び本日ご説明いたしました将来の見通し、予測は、本県として、現時点で妥当と考えられる範囲で示したものであり、確実な実現をお約束するものではありません。